

2018 年 6 月 15 日

各諸機関長 殿

立教大学
総長 郭 洋春
[公印省略]

教員の公募について（依頼）

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび本学では、下記の要領で教員を公募することとなりました。つきましては、この旨を関係者に広くお知らせいただきたく、よろしくお取りはからいますよう、お願い申し上げます。

敬具

記

1. 募集人員および職種 (Number of positions and job type)

1 名、特任教員 B（教授または准教授） (One specially appointed Professor or specially appointed Associate Professor)

2. 勤務形態 (Employment status)

常勤、任期 1 年。ただし 4 回に限り更新可能。 (Full-time. One-year contract renewable four times [up to five years in total])

3. 所属 (Department)

立教大学文学部文学科英米文学専修

(Course of English and American Literature, Department of Letters, College of Arts, Rikkyo University)

4. 勤務地 (Work location)

立教大学池袋キャンパス (Rikkyo University, Ikebukuro campus)

5. 着任時期 (Starting date)

2019 年 4 月 1 日 (April 1, 2019)

6. 研究分野 (Research field)

英語学または英米文学 (English Philology, English Literature, or American Literature)

7. 業務内容 (Content of job information)

担当予定科目は、学部「英語基礎演習」（春・秋学期）、「英語表現演習」（春・秋学期）など

(Undergraduate reading courses including Preliminary English Seminars -and- Seminars in English and American Literature)

担当業務は、学部における授業科目・演習及びそれに関わる業務

(Other required tasks related to teaching undergraduate courses)

8. 応募資格 (Qualifications)

(1) 英語を母語とするか、それに近い言語運用能力を有する方で、幅広く、英語、英米文学および英米文化にかかわる領域を専門とする方

(Native, or near-native speaker of English, specialized in the language of English, English and American Literature, or English and American Culture)

(2) 修士号以上を取得している方、および日本における学部教育経験がある方

(Higher than a Master's degree; experience in undergraduate teaching in Japan)

(3) 年齢は問わない（定年 70 歳）

(No age restrictions [retirement upon reaching the age of 70])

(4) 文学科と文学部全体のカリキュラムの展開に積極的に参加し、貢献できる人物
(Active participation in and contribution to the development of the Department of Letters and the College of Arts)

9. 待遇 (Compensation and Benefits)

給与、研究費、休暇、福利厚生等は本学規程による

(Terms and conditions of employment are determined by the University's regulations)

10. 応募書類 (Required documents for application)

(1) 履歴書 (使用言語は英語または日本語)

(Curriculum Vitae [either in English or in Japanese])

(2) 研究業績目録 (Complete list of research publications)

※履歴書、研究業績目録については、立教大学所定の様式を使用のこと。所定様式は立教大学ホームページ (<http://www.rikkyo.ac.jp/>) の「採用情報」よりダウンロードできます。

(*Please download Rikkyo University's designated forms for (1) and (2) by clicking 「採用情報」 on the University's website [<http://www.rikkyo.ac.jp/>].)

(3) 主要研究業績 3 点 (抜き刷り、該当箇所コピーなど)

(Three major academic publications [offprints or photocopies])

※選考の過程で、追加の提出物を求めることがある。提出書類は返却しない。

(*Other documentation may be requested during the screening process. Application documents will not be returned.)

11. 提出期限 (Application deadline)

2018 年 7 月 23 日 (月曜日) 必着 (2018/07/23 [Mon.] Deadline for receipt)

12. 選考内容 (Selection process)

提出書類に基づいて審査する。審査の過程で面接を行うことがある。面接のための旅費は本学規程により支給される。

(Applicants will be selected based on the submitted application materials. The selection committee may ask applicants to attend on-campus or Skype interviews. Travel expenses for the interview will be covered according to the University's regulations.)

13. 応募書類送付先/問い合わせ先 (Mailing address / Contact information)

〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1 立教大学 学部事務 1 課

(封筒には「教員応募書類 (英米) 在中」と朱書きし、簡易書留で郵送して下さい。メールでの問い合わせは、bun-kobo18etb@ml.rikkyo.ac.jp まで。)

(Gakubu-jimu 1-ka, Rikkyo University, 3-34-1 Nishi-Ikebukuro, Toshima-ku, Tokyo, 171-8501)

[Write in red on the envelope: "Application Documents: English." Send by registered mail. For inquiries, please contact Gakubu-jimu 1-ka at: bun-kobo18etb@ml.rikkyo.ac.jp.]

※提出された個人情報は教員任用業務、連絡、手続きのためのものであり、その他の目的に使用することはありません。

(*Personal information received through this application process will not be used for any other purpose than to screen candidates for employment.)

以上

国 公 私 立 大 学 長
都道府県・政令指定都市教育委員会委員長 殿
関 係 機 関 長

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
理事長 宍戸 和成
(公 印 省 略)

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所研究職員の公募について（依頼）

本研究所は、我が国唯一の特別支援教育のナショナルセンターとして、インクルーシブ教育システム構築に向けて、特別支援教育に関する教育課題に対応した実践的研究及び特別支援教育担当教員等の指導者研修等を行っている文部科学省が所管する研究機関です。

このたび、下記の要領で研究職員を公募いたしますので、貴管下の関係者に御周知くださるようお願いいたします。

記

- 1 採用予定職種 総括研究員（研究職4級）、主任研究員（研究職3級）又は研究員（研究職2級）
（採用職種は、経歴等を勘案して決定する。）
- 2 任 期 任期なし。ただし、経歴等を勘案し、任期付（任期は3年以内、再任あり）となることもある。
- 3 募 集 人 員 1名
- 4 担 当 職 務 主として、下記の全ての職務に従事することとなるが、他の業務も担当することもある。
(1) 幼児期における特別支援教育に関する研究（乳児期の支援に関する研究、小中学校等における特別支援教育との連続性に関する研究等を含む）
(2) 本研究所が実施する研修等における講義・実習等及び本研究所が実施する諸事業の担当
(3) 所属部署における業務
- 5 応 募 資 格 (1) 修士以上の学位（採用予定日までに取得見込みを含む）又はそれと同等の研究業績を有すること。
(2) 幼児期における特別支援教育又は乳幼児期における障害児保育・療育並びに就学等に関する研究業績（実践に関する研究発表等を含む）があること。
(3) 教育機関、福祉機関、医療機関等において、障害のある乳幼児に係る保育、相談・指導等の業務の経験があることが望ましい。
- 6 採用予定日 平成31年4月1日
- 7 応 募 期 限 平成30年7月30日（月）（必着）
- 8 提 出 書 類 (1) 履歴書（写真貼付。なお試験・検定等により語学力を証明できるものがあれば、その内容を付記してください。 例：TOEIC L&R 650点）
(2) 研究業績目録（著書、論文、学会発表（実践に関する研究発表を含む）等に区分し、書名、題名、発表誌名、発行所、発表学会名、発行・発表年月日、著者名・共同発表者名等を明記したもの）

- (3) 主要研究業績(著書、論文の現物(又はコピー)、学会発表資料(実践に関する研究発表を含む)等、5点以内)
 - (4) これまで取り組んできた教育活動(教育相談及び研修会講師等の実績を含む。)、審議会、調査会、協力者会議、教育研究団体、学協会等での活動及びその他障害のある乳幼児に係る保育、相談・指導等の活動業績
 - (5) 小論文「あなたは、我が国の幼児期における特別支援教育の充実に向け、今後、どのように取り組みたいと考えますか。本研究所の使命・役割にも触れながら具体的に記述してください。」(A4版で2,000字以内)
- ※ 下記については、選考の過程で提出を求める場合がありますので、その際には別途本人に対し連絡します。

- ①健康診断書(公的機関発行のもの)
- ②大学及び大学院の卒業(修了)証明書

- 9 選考方法 第一次選考:書類審査【平成30年8月上旬頃結果通知予定】
第二次選考:面接審査(第一次選考合格者に対して実施する)
【平成30年8月下旬実施予定】

- 10 書類提出先 〒239-8585

神奈川県横須賀市野比5-1-1

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 総務部総務企画課人事係 宛

- ※ 提出書類は、封筒の表に「研究職員 応募書類在中」と朱書きで明記し、簡易書留または書留小包で郵送すること。

- 11 問い合わせ先 総務部総務企画課人事係 電話 046(839)6925,6814(直)
Eメール jinji@nise.go.jp

- 12 その他
- (1) 面接審査における旅費等は応募者の負担となります。(面接日は後日連絡)
 - (2) 応募書類は返却しません。また、応募書類により取得する個人情報、採用者の選考及び採用後の人事等の手続きを行う目的で利用するものであり、この目的以外で利用又は他に提供することはありません。
 - (3) 採用された場合、国の機関(国家公務員)、地方公務員、国立大学法人及び独立行政法人等の職員から引き続き本研究所に在職することとなっても、本研究所での退職手当の算出に係る在職期間は、それらにおける在職期間を通算しないこととなりますので、あらかじめ御了解下さい。
 - (4) 本研究所に関する情報はホームページを参照して下さい。
ホームページアドレス <http://www.nise.go.jp/nc/>
 - (5) 本研究所の研究職員の定年は、満63歳です。
 - (6) 本研究所職員の身分は非公務員となります。
 - (7) 本研究所の研究職員は、基幹研究(横断的研究)、基幹研究(障害種別研究)及び地域実践研究に参画しています。<http://www.nise.go.jp/nc/study>
- 【参考】独立行政法人国立特別支援教育総合研究所設置法(抄)

(研究所の目的)

第三条 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所(以下「研究所」という。)は、特別支援教育に関する研究のうち主として実証的な研究を総合的に行い、及び特別支援教育関係職員に対する専門的、技術的な研修を行うこと等により、特別支援教育の振興を図ることを目的とする。

(業務の範囲)

第十二条 研究所は、第三条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- 一 特別支援教育に関する研究のうち主として実証的な研究を総合的に行うこと。
- 二 特別支援教育関係職員に対する専門的、技術的な研修を行うこと。
- 三 第一号の研究の成果の普及その他特別支援教育に関する研究の促進を行うこと。
- 四 特別支援教育に関する図書その他の資料及び情報を収集し、整理し、保存し、及び提供すること。
- 五 特別支援教育に関する相談に応じ、助言、指導及び援助を行うこと。
- 六 前各号の業務に附帯する業務を行うこと。

2018 年 6 月 9 日

関係各位

南山大学人文学部長 青柳 宏

教員の公募について(依頼)

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、南山大学人文学部において、下記の要領で専任教員を公募することとなりました。つきましては貴学関係者にご周知くださいますとともに、適任者のご推薦をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職名および人員 准教授または講師 1 名
2. 所属 人文学部日本文化学科
3. 専門分野 日本研究（人文地理学・民俗学・社会学のいずれかを専攻し、日本における地域研究を専門とする方）
4. 担当予定科目 日本文化学演習、日本文化学基礎演習、日本文化学入門、地域文化論、日本民俗文化論、共通教育科目
将来的には上記以外で大学院科目担当の可能性もあり。
5. 応募資格
 - (1) 専門分野に関する博士の学位を有する方（今年度中に取得予定の方を含む）。
 - (2) 学際的な視野をもって日本研究を志向する方。
 - (3) 学内の諸業務を十分に遂行できる日本語運用能力を有する方。
 - (4) 名古屋市内またはその近郊に居住できる方。
6. 採用予定日 2019 年 4 月 1 日
7. 応募締切 2018 年 7 月 31 日(火) 必着
8. 応募書類
 - (1) 履歴書（大学入学以降・写真貼付）
 - (2) 研究教育業績一覧：①著書 ②論文（博士・修士論文も含む） ③学会発表 ④教育活動 ⑤その他
 - (3) (2)に記載の各著書と論文(①および②)の概要：日本語で 400 字程度に要約し、論文については査読の有無、共著の場合には分担率(「分担率 80%」等と表記)を記載してください。

- (4) 著書、論文で主要なもの 5 点(抜き刷りまたはコピーも可。研究教育業績一覧には、該当する業績に○を付してください)
- (5) 本学科において、これまでの経験も踏まえてどのような研究教育を行おうとするかについてまとめたもの(2000 字程度)
- (6) 最終学位取得証明書(学位記のコピーでも可)
- (7) 2 名からの推薦状各 1 通(計 2 通。本人と推薦者との関係を明記し厳封のこと)

9. 選考方法

書類審査後、最終選考に残った応募者に対して面接を行います(9 月中を予定)。その際に専門分野についての模擬授業・講義を求めることがあります(面接のために要する旅費は自己負担となります)。

10. 書類送付先

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町 18

南山大学人文学部事務室「日本文化学科教員公募」係

(封筒の表に「公募書類在中」と朱書きの上、書留郵便、EMS 等で送付してください)

問合せ先： 南山大学人文学部日本文化学科

メールアドレス：nihonbunka-jinji@nanzan-u.ac.jp

その他：

- (1) 提出書類は一切返却しません。ただし、著書、論文等の現物が提出された場合には申し出により選考後に返却します(提出書類にその旨明記してください)。
- (2) 最終選考に残った応募者に対しては、選考後に全研究業績の現物あるいはコピーの提出を求めます。
- (3) 必要に応じて追加書類の提出を求めることがあります。
- (4) 応募において提出された個人情報、本学の個人情報保護に関する規定に従って適正に管理し、人事選考以外の目的には使用しません。

以上

関係各位

北九州市立大学

学長 松尾 太加志

教員の公募について (依頼)

この度、北九州市立大学文学部比較文化学科において、下記の要領で専任教員を公募することになりました。御多用のところ誠に恐縮ですが、貴大学院及び関係機関等へお知らせくださいますよう宜しくお願い申し上げます。

記

- 1 担当分野 フランス文化
- 2 担当科目 ヨーロッパ文化講読Ⅱ、ヨーロッパ文化資源論Ⅱ、日仏文化比較、フランス語Ⅰ・Ⅱ、比較文化入門Ⅰ・Ⅱ (一部担当)、演習A-Ⅰ・Ⅱ、演習B-Ⅰ・Ⅱ、卒業論文、など
- 3 採用職名 准教授 又は 講師 (任期の期限なし)
- 4 募集人員 1名
- 5 所 属 文学部比較文化学科
- 6 採 用 平成 31 年 (2019 年) 4 月 1 日 (予定)
- 7 応募資格 (1) 大学院博士後期課程修了者、又はそれに準ずる者。
(2) 外国語を母語とする場合、日本語での教育と大学運営業務の能力を有すること。
(3) 地域文化の振興に積極的に取り組めること。
- 8 提出書類 年号はすべて西暦で記入してください。
(1) 履歴書 1 通
(2) 業績目録 1 通 (主な著書、論文 3 点に○印をつけること。また 3 点それぞれについて 1000 字程度の日本語の要約を付すこと。)
(3) 主な著書、論文: (2) で○印をつけたものの現物またはコピー各 1 部
(4) 現在の研究状況及び研究計画書 1 通 (1000 字程度)
(5) 教育に対する抱負 1 通 (1000 字程度)
(6) 「ヨーロッパ文化資源論」ないし「日仏文化比較」のどちらか 1 科目の講義計画書 (15 回分) 1 通
- 9 応募期限 平成 30 年 (2018 年) 8 月 2 日 (木) 必着
- 10 選考方法 書類審査及び面接を行います。面接の際、30 分程度の模擬授業をしていただきます。なお、その際の旅費・滞在費は応募者の自己負担とさせていただきます。
- 11 選考結果の通知 応募者全員に直接通知します。
- 12 勤務条件等 (1) 状況に応じて、大学院の講義 (夜間開講) などを担当していただくことがあります。
(2) 給与、勤務時間その他の勤務条件については、公立大学法人北九州市立大学職員就業規則その他の規程によります。
- 13 応募書類の提出先 〒802-8577 北九州市小倉南区北方 4-2-1 北九州市立大学文学部長 宛
※ 封筒の表に「文学部 (フランス文化) 教員応募書類」と朱書きし、簡易書留郵便で送付してください。
※ 著書・論文の返却を希望される方は、返送用封筒に切手を貼って同封してください。
- 14 問い合わせ先 北九州市立大学 学務第一課 文学部担当
Tel : 093-964-4036 Mail : bungakubu@kitakyu-u.ac.jp

関係各位

北九州市立大学
学長 松尾 太加志

教員の公募について（依頼）

この度、北九州市立大学文学部比較文化学科において、下記の要領で専任教員を公募することになりました。御多用のところ誠に恐縮ですが、貴大学院及び関係機関等へお知らせくださいますようお願い申し上げます。

記

- 1 専攻分野 ドイツ語圏文化
- 2 担当科目 比較広域文学、ヨーロッパ文化資源論Ⅰ、ヨーロッパ文化講読Ⅰ、文化共生概論（一部担当）、演習A-1・2、演習B-1・2、卒業論文、比較文化入門1・2（一部担当）、ドイツ語など
- 3 採用職名 准教授 又は 講師（任期の期限なし）
- 4 募集人員 1名
- 5 所 属 文学部比較文化学科
- 6 採 用 平成31年（2019年）4月1日（予定）
- 7 応募資格 大学院博士課程修了者、又はそれに準ずる者。
外国語を母語とする場合、日本語での教育と大学運営業務の能力を有すること。
本学科の資格課程の管理運営、地域の文化振興に積極的に関わっていただける方。
- 8 提出書類 年号はすべて西暦で記入してください。
(1) 履歴書1通
(2) 業績目録1通（主な著書、論文3点に○印をつけ、各々について1000字程度の要約を日本語で付すこと。）
(3) 主な著書、論文：(2)で○印をつけたものの現物 又はコピー1部
(4) 現在の研究状況及び研究計画書 1通（1000字程度）
(5) 教育に対する抱負 1通（1000字程度）
(6) 講義計画書：「比較広域文学」（15回分）について1通
- 9 応募期限 平成30年（2018年）8月6日（月）必着
- 10 選考方法 書類審査及び面接を行います。面接の際、30分程度の模擬授業をしていただきます。なお、その際の旅費・滞在費は応募者の自己負担とさせていただきます。
- 11 選考結果の通知 応募者全員に直接通知いたします。
- 12 勤務条件等 (1) 状況に応じて、大学院の講義（夜間開講）などを担当していただくことがあります。
(2) 給与、勤務時間その他の勤務条件については、公立大学法人北九州市立大学職員就業規則その他の規程によります。
- 13 応募書類の提出先 〒802-8577 北九州市小倉南区北方4-2-1 北九州市立大学文学部長 宛
※ 封筒の表に「文学部教員（ドイツ語圏文化）応募書類」と朱書きし、簡易書留郵便で送付してください。
※ 著書・論文の返却を希望される方は、返送用封筒に宛先を明記し、切手を貼って同封してください。
- 14 問い合わせ先 北九州市立大学 学務第一課 文学部担当
Tel: 093-964-4036 Mail: bungakubu@kitakyu-u.ac.jp

平成30年6月14日

関係各位

広島大学大学院文学研究科長
久保田 啓一（公印省略）

教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本研究科では、下記の要領で教員を公募することとなりました。

つきましては、関係者各位へ周知いただくとともに、適任者の推薦及び応募についてよろしくお取り計らい願います。

敬具

記

1. 所属（配属） 広島大学学術院（大学院文学研究科 総合人間学講座）
2. 職名・人員 教授 1名
3. 採用予定年月日 平成31年 4月 1日
4. 専門分野 比較日本文化学
5. 担当科目 教養教育科目：「人文学入門」（英語）等
学部（専門教育科目）：「人文学概説」等
大学院（博士課程前期）：「東アジア歴史文化論講義・演習」，「特別研究指導Ⅰ」等
大学院（博士課程後期）：「特別研究指導Ⅱ」等
この他，教養教育科目や他の学部・大学院の専門教育科目，全学事業も担当することがあります。
6. 応募資格 次の要件をすべて満たす者
(1)博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む）を有すること。
(2)著書（単著）1冊以上，または論文20編（うち査読付き論文7編以上を含む）以上の研究業績を有すること。
(3)英語による教育・研究指導ができること。
(4)日本語を母語としない場合，日本語で学内業務が遂行できること。
※大学院における博士課程前期・博士課程後期の論文指導経験を有することが望ましい。
7. 応募書類 (1)履歴書（写真貼付）1通
①学歴・職歴・所属学会・住所・メールアドレス等を明記すること。

②過去5年間に広島大学で雇用(TA, RA, 研究員等を含む)されたことがある場合は, 漏らさず記載すること。

(2)研究業績一覧

①著書・論文・その他(書評・翻訳・学会発表[国内学会・国際学会]・招待講演等)を区分して各研究業績に番号を付け, 一覧形式で記載すること。

②審査付論文の番号にはアンダーラインを付けること。

③主要研究業績5点には番号の冒頭に*印を付けること。

④学会発表に関しては, 発表題目・学会等名・発表年・学会開催地を明記すること。

(3)主要な研究業績

5点(別刷またはコピー, 著書)と, それぞれの概要(日本語400字程度または英語200語程度)を提出すること。

(4)教育上の主要な業績

(5)社会貢献に関わる主要な業績

(6)大学等における管理運営に関わる主要な実績

(7)最近5年間ににおける外部資金の獲得状況(代表, 分担別)

(8)着任後の研究・教育に対する抱負と計画(日本語2,000字程度または英語800語程度)

*上記(1)～(8)の応募書類は日本語または英語で作成することができる。応募書類は, 紙媒体と電子ファイル(WordファイルまたはPDFファイル, CD-ROMまたはUSBメモリに保存)の両方を提出すること。研究業績の現物は, この限りではない。

8. 応募期限 平成30年 8月9日(木) 17:00(日本標準時)(必着)

9. 応募書類送付先 〒739-8522 広島県東広島市鏡山1-2-3
広島大学大学院文学研究科長 久保田啓一
※封筒の表に「大学院文学研究科総合人間学講座教員(教授)応募書類在中」と朱書し, 書留郵便で送付してください。

10. 選考方法 (1)書類審査
(2)必要に応じて面接を行うことがあります。面接を行う場合は, 原則として, 英語による模擬授業を行います。ただし, 交通費等は支給できませんので, あらかじめ御了承ください。なお, 書類審査通過者に面接を行う場合は, その形式について, 別途連絡します。
(3)広島大学は, 男女共同参画を推進しています。本学は, 「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り, 業績(研究業績, 教育業績, 社会貢献等)及び人物の評価において同等と認められた場合は女性を採用します。

11. 勤務形態 (1)勤務時間 8:30～17:00(月～金), 休憩時間12:00～12:45
専門業務型裁量労働制の適用に同意した場合は, 1日7時間45分, 1週間38時間45分働いたものとみなされます。
(2)勤務日は, 原則として月曜日から金曜日(祝日を除く。)です。

(3) 休日は、原則として土曜、日曜、祝日となります。

12. 給 与 等 (1) 採用になった方には、月給制又は年俸制が適用されます。
(広島大学職員給与規則、広島大学年俸制職員給与規則適用)
(2) 採用となった方には、本学の規則に基づき、採用に伴う旅費を支給できる場合がありますのでお問い合わせ下さい。

【月給制適用の場合】

国、独立行政法人、地方公共団体又は国家公務員退職手当法に定める公庫等を退職後、引き続いて本学に採用される場合は、退職手当の算定の基礎となる在職期間は通算されません。法人化前の取扱いとは異なりますのでご注意ください。

なお、他の国立大学法人又は独立行政法人国立高等専門学校機構等を退職後引き続いて本学に採用される場合は、現所属機関に同様の定めがある場合に限り通算されます。

13. 評 価 本学の教員には、採用以降の業務実績について個人評価を行い、その結果を点数化し、処遇へ反映します。

14. 募 集 者 名 国立大学法人広島大学

15. そ の 他 (1) 試用期間：あり（6月間）
(広島大学職員就業規則)
(2) 応募書類により取得する個人情報、採用者の選考及び採用後の人事・給与・福祉関係に必要な手続に利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。
なお、採用に至らなかった方の応募書類は、当該採用選考業務終了後、適切な方法にて返却いたします。
(3) 広島大学では全ての大学教員は「学術院」に所属し、学部、研究科、研究院、病院などの教育研究組織に配属されます。教員は配属された教育研究組織の教育・研究に従事することになりますが、教養教育科目や他の教育研究組織の教育・研究、全学事業を担当することもあります。

16. 問い合わせ先 広島大学大学院文学研究科 総合人間学講座 高永 茂
TEL:082-424-6665 FAX:082-424-6665
E-mail:takanaga@hiroshima-u.ac.jp

Date: June 14, 2018

Faculty Open Position
Graduate School Position in the Department of Integrated Humanities

Applicants are invited from suitably qualified candidates for a tenured teaching position in the department. Details relating to the position, method of application, and required documents are given below:

1. Affiliation (Appointment): Academy of Hiroshima University (Department of Integrated Humanities, Graduate School of Letters)
2. Position and the number of openings: Professor, one (1)
3. Commencing date of employment: 1st April 2019
4. Field of specialization: Comparative Studies of Culture
5. Teaching responsibilities
 - Undergraduate level (general education courses): 'Introduction to Humanities'
 - Undergraduate level (discipline specific courses): 'Outline of Humanities'
 - Graduate level (master's programs): 'Lectures on History and Culture in East Asia', 'Seminars on History and Culture in East Asia', 'Special Research Tutorial I', etc.
 - Graduate level (doctoral programs): 'Special Research Tutorial II'

* In addition to the courses listed above, he or she may be asked to teach other general education courses and/or discipline specific courses in other department(s) and graduate school(s).

6. Qualifications

Applicants must satisfy all of the following requirements:

- (1) Hold a doctorate or an equivalent degree by the time the appointment begins
- (2) Hold more than one book (monograph) published and/or more than published twenty academic papers (including more than seven refereed papers).
- (3) Be able to teach classes and supervise students in English.
- (4) Applicants who are non-native speakers of Japanese must have the level of Japanese language proficiency necessary for them to be able to carry out their

responsibilities and administrative duties effectively.

* Preferably, have experience in supervising graduate students in a master's and/or doctoral program(s) in preparation for the thesis/dissertation.

7. Application materials required

- (1) Resume (attached a recent photograph) One copy
 - 1) school career, employment career, affiliated academic society, address, e-mail address, etc. are to be given.
 - 2) If you have a history of being employed by Hiroshima University (as a TA, RA, researcher, etc.) in the past five years, be sure to state all positions you have held.
- (2) List of publications and oral presentations (Number each publication/presentation, and underline the numbers of refereed articles. Affix an asterisk (*) to the numbers of your five major publications or presentations.) In the list of oral presentations, the title of a paper, the name of a conference, and its date and place are to be specified
- (3) Hard copies (original or offprint publications) of the five checked works with a summary (approximately 400 Japanese letters or 200 English words) for each of the major works are required.
- (4) Major educational activities and teaching experience
- (5) Major social contributions
- (6) Major activities in university/institutional management and administration
- (7) List of acquired external funding over the last five years
- (8) Statement of intent (Please describe your interests in teaching and research in approximately 2,000 Japanese letters or 800 English words, should you take this position.)

*All of the documents may be either in English or Japanese. Applicants are requested to submit all documents in Word or PDF files on a CD-ROM or a USB memory stick, in addition to the hardcopies outlined above.

8. Application deadline: All application materials must reach us by [5:00 pm on August 9, 2018 (Japan time)].

9. Please send all application documents to the following address:

Prof. Keiichi KUBOTA

Dean, Hiroshima University Graduate School of Letters

1-2-3, Kagamiyama, Higashi-Hiroshima 739-8522, JAPAN

- * Print in red "Application documents for faculty open position of Professor in the Department of Integrated Humanities, Graduate School of Letters" on the envelope containing the application documents and send it by registered mail.

10. Selection procedure

- (1) Selection will be made based on all application documents submitted.
- (2) Interviews will be conducted as needed. As a general rule, we will conduct simulated lessons in English. In such cases, please note that travel expenses will be the responsibility of the applicant. Applicants who pass the initial document review will be informed of interview date, time and format.
- (3) Hiroshima University promotes a gender-equal society in accordance with the legislative intent of the Basic Law for a Gender-Equal Society.

11. Employment status

- (1) If you are agreeable to the application of the Discretionary Labor System for Professional Work, you are deemed to work for 7 hours and 45 minutes a day and 38 hours and 45 minutes a week. If not, working hours are from 8:30 to 17:00 (from Monday to Friday) and break time is from 12:00 to 12:45.
- (2) Workdays are from Monday to Friday (excluding public holidays) in principle.
- (3) Holidays are Saturdays, Sundays and public holidays in principle.

12. Salary, etc.

- (1) The monthly salary system or annual salary system will be applied to successful candidates.
(Regulations Concerning Salaries of Hiroshima University Faculty Members will be applied. Regulations Concerning Salaries of Hiroshima University Faculty Members Employed under Annual Salary System will be applied.)
- (2) Successful candidates may be reimbursed for travel expenses incurred for the trip from their home or former place of work to the new place of work to assume their post in accordance with the relevant regulations of Hiroshima University. For more information, please contact us.

13. Evaluation

We conduct individual performance evaluations for all Hiroshima University faculty members after their employment, numerically rate their performance, and salary and benefits are commensurate with performance indicators.

14. Employer: Hiroshima University

15. Miscellaneous

- (1) Probationary employment period: six (6) months
(Hiroshima University Work Regulations for Employees.)
- (2) Personal information obtained from application documents will not be used or provided to any third party for purposes other than the necessary procedures related to personnel affairs, salary, and welfare. Application documents of applicants whom we have decided not to employ will be returned to those applicants in an appropriate manner, after the completion of relevant selection processes.
- (3) All the faculty members of Hiroshima University belong to the "Academy", which is the single university-wide faculty organization, and each faculty as a member of the Academy of the University is appointed to educational and/or research organizations such as an individual undergraduate school, graduate school, research center or institute.

16. Contact

Prof. Shigeru TAKANAGA

Department of Integrated Humanities, Hiroshima University Graduate School of Letters

Phone: +81-82-424-6665

Fax: +81-82-424-6665

E-mail: takanaga@hiroshima-u.ac.jp

教 総 第 3 1 7 号

平成30年6月27日

各大学就職指導担当部長 殿

茨城県教育委員会教育長

(公 印 省 略)

平成30年度 茨城県職員（学芸員）採用選考案内について（送付）

時下 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、この度、本県におきましては、茨城県陶芸美術館に勤務する学芸員の採用選考を、別添の選考案内のとおり行います。

つきましては、貴大学の卒業者及び卒業見込みの者に対して周知方ご配慮願います。

なお、履歴書等の出願書類につきましては、茨城県教育委員会ホームページから、
(<http://www.edu.pref.ibaraki.jp/board/>) ダウンロードできますので、ご利用ください。

(問い合わせ先)

茨城県教育庁総務企画部総務課総務担当 峯嶋

電話:029-301-5114/FAX:029-301-5139

E-mail:k.mineshima@pref.ibaraki.lg.jp



茨城県

平成30年度 茨城県職員(学芸員(近代工芸))採用選考案内

平成30年6月27日
茨城県人事委員会
茨城県教育委員会

学芸員を採用するための茨城県職員採用選考を次のとおり行います。

■ 第1次選考日 平成30年9月2日(日)

■ 受付期間 平成30年6月27日(水)～8月10日(金)

※ 郵送の場合は、受付最終日の消印有効

※ 持参する場合は、受付期間のうち、土曜日、日曜日及び国民の祝日
を除く午前8時30分から午後5時15分まで

1 職種、採用予定人員及び職務内容

職 種	採用予定人員	採用時の勤務場所及び主な職務内容
学芸員 (近代工芸)	1名程度	茨城県陶芸美術館において、主に陶磁器に係る美術資料の 収集・保管・調査研究、展覧会の企画・運営等の業務に従 事します。

※1 採用予定人員については、変更になる場合があります。

※2 「採用時の勤務場所及び主な職務内容」については、採用時の予定です。その後の人事
異動により、上記勤務場所以外での業務に従事していただく場合があります。

2 受験資格

次のいずれにも該当する人が受験できます。

(1) 昭和54年4月2日以降に生まれた人

(2) 博物館法第5条第1項の学芸員の資格を有する人、又は平成31年3月31日までに資格取
得見込みの人

注) 上記の受験資格に該当する人であっても、次のいずれかに該当する人は、受験できません。

① 日本国籍を有しない人

② 成年被後見人又は被保佐人(準禁治産者を含む。)

③ 禁錮以上の刑に処され、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるま
での人

④ 茨城県において懲戒免職の処分を受け、その処分の日から2年を経過しない人

⑤ 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団
体を結成し、又はこれに加入した人

3 選考の日時及び会場

区 分	日 時	会 場
第一次選考	平成30年9月2日(日) ・ 開 場 午前9時00分頃 ・ 説明開始 午前9時15分 ・ 教養考査 午前9時30分～午前11時30分 ・ 専門考査Ⅰ 午後0時15分～午後2時15分 ・ 専門考査Ⅱ 午後2時30分～午後3時50分	茨城県水戸合同庁舎 水戸市柵町1-3-1 電話029(225)2803
第二次選考	平成30年9月30日(日) ・ 適性検査 ・ 論文考査 ・ 口述考査 ※ 第2次選考の時間については、第1次選考合格者のみに通知します。	

※ 試験場への車両(自動車、オートバイ、自転車等)の乗入れは禁止しますので、公共交通機関等を御利用ください。

※ 災害等により、やむを得ず試験の日程等を変更する場合があります。その場合は、茨城県人事委員会事務局ホームページ(<http://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/jinjiin/>)にてお知らせしますので確認してください。

4 選考の方法

項 目		方 法	内 容
第一次選考	教養考査	択一式 (2時間)	公務員として必要な一般的知識及び知能等について、大学で履修した程度の問題を出題します。
	専門考査Ⅰ (近代工芸)	記述式 (2時間)	学芸員として必要な専門的知識及び能力等をみます。
	専門考査Ⅱ (英語)	記述式 (1時間20分)	学芸員として必要な英語の読解力及び表現力(書く力)をみます。
第二次選考	適性検査		通常の職務遂行に必要な適性の有無等について検査します。
	論文考査	記述式 (2時間)	文章による表現力、課題に対する理解力等に加え、学芸員としての企画力、発想力等をみます。
	口述考査	個別面接	主として人物についての評定を行います。
資格調査			受験資格の有無等について調査します。

5 受験手続

(1) 受験申込（郵送又は持参による方法のみ）

申込方法	次の書類に必要事項を記入し、茨城県人事委員会事務局に郵送するか、又は持参してください。 (1) 履歴書（県所定の様式） (2) 学芸員の資格を取得していることを証明する書類、又は資格が取得できる見込みの証明書類（大学等の履修証明等） (3) 研究・業績等調書（県所定の様式） ※ワープロ等作成可（A4判） (4) 82円分の切手を貼った長形3号の返信用封筒（受験票を送付するためのものです。封筒の表面に、受験票を受け取るのに都合の良い受験者のあて名（郵便番号、住所、氏名）を必ず記入してください。） ※ 履歴書等の用紙は、茨城県人事委員会事務局のホームページからダウンロードできます。 ※ 郵送で申込む際は、申込みの封筒の表に「 <u>選考申込</u> 」と朱書きし、必ず郵便局の窓口で「 <u>簡易書留</u> 」の手続をとってください。
申込先	茨城県人事委員会事務局 〒310-8588 水戸市笠原町978番6
受付期間	【郵送の場合】平成30年6月27日（水）～平成30年8月10日（金）（消印有効） 【持参の場合】平成30年6月27日（水）～平成30年8月10日（金） ※ 持参の場合は、 <u>閉庁日（土曜日、日曜日及び国民の祝日）は受付できません。また、受付時間は午前8時30分から午後5時15分までとなります。</u>

(2) 受験票等送付

受付後、茨城県人事委員会事務局から受験票を送付します。平成30年8月24日（金）までに到着するように郵送しますが、それまでに到着しない場合には、茨城県人事委員会事務局にお問い合わせください。

(3) 第1次考査当日に持参するもの

①受験票 ②HBの鉛筆又はシャープペンシル ③消しゴム ④鉛筆削り ⑤黒色のボールペン ⑥昼食

6 合格者の発表

(1) 第1次選考合格発表 : 平成30年9月12日（水）午後1時（予定）

(2) 最終合格発表 : 平成30年10月23日（火）午後1時（予定）

茨城県人事委員会事務局のホームページに合格者の受験番号を掲示するほか、全ての考査科目を受験した受験者全員に合否の結果を通知します。

7 採用予定年月日

平成31年4月1日を予定しています。

※ 学芸員の資格を取得しない人は、この選考に合格しても採用されません。

8 給与、勤務時間、休暇制度

- (1) 給与は、職員の給与に関する条例、規則により支給されます。例えば、大学を卒業後、直ちに採用された場合の給与月額、196,948円（地域手当6%を含む。）です。
- ・ 職務経歴等がある場合は、所定の額が加算されます。
 - ・ このほか、扶養手当、通勤手当、時間外勤務手当、期末・勤勉手当等が支給されます。
 - ・ これらの額は、条例改正等によって変更されることがあります。
- (2) 勤務は、原則として週5日（完全週休2日制）で、勤務時間は午前8時45分から午後5時30分です。
- なお、茨城県陶芸美術館は、月曜日を休館日としていますので、ローテーションで土曜日、日曜日及び国民の祝日も勤務することになります。
- (3) 年次有給休暇は、1年につき20日間（ただし、4月採用の場合は、採用年のみ15日）で、年休の残日数は20日を限度に翌年に繰り越すことができます（年間最大40日）。
- また、5日間の夏季休暇があります。このほか、育児休業、特別休暇（結婚、忌引等）があります。

9 その他

(1) この選考についての問い合わせ先等

■ この選考について

茨城県人事委員会事務局

〒310-8555 水戸市笠原町978番6 茨城県庁内

電話 029-301-5549 FAX 029-301-5559

Eメールアドレス saiyoushiken@pref.ibaraki.lg.jp

■ 職務内容及び受験資格について

茨城県教育庁総務企画部総務課

〒310-8588 水戸市笠原町978番6 茨城県庁内

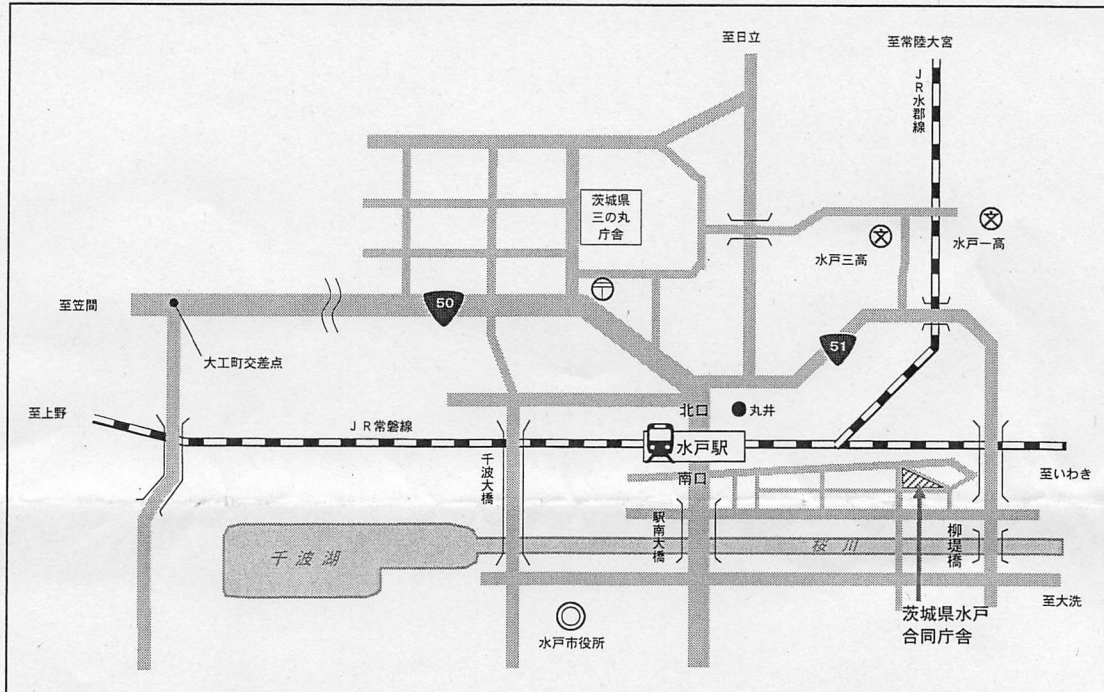
電話 029-301-5114 FAX 029-301-5139

Eメールアドレス kyoikusomu@pref.ibaraki.lg.jp

※ 茨城県人事委員会事務局ホームページ(<http://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/jinjiin/>)
又は、茨城県教育委員会ホームページ(<http://www.edu.pref.ibaraki.jp/board/>)で、この選考についての情報を提供するとともに、提出書類（様式）をダウンロードできます。

(2) 選考会場

茨城県水戸合同庁舎（水戸市柵町1－3－1）



職 種	学芸員（近代工芸）	※受験番号
-----	-----------	-------

履 歴 書 平成 年 月 日現在

ふりがな 氏 名	
生年月日 年 月 日 (満 歳)	性 別 男 ・ 女

写真を貼る位置

1. 縦 36～40mm
横 24～30mm
2. 本人単身胸から上
3. 裏面に記名の上、
のりづけ

ふりがな 現 住 所 〒	(下宿先・アパート名・寮名まで記入)
-----------------	--------------------

ふりがな 連 絡 先 〒	(現住所と同じ場合は同上と記入してください)
-----------------	------------------------

緊急連絡先（日程変更等、緊急の連絡をすることがありますので、必ず記入してください）	
電 話 ()	—
携 帯 電 話 ()	—
メー ル ア ド レ ス	@

学 歴（高校から記載）	学 校 名	学 部 ・ 学 科	部 制	在 学 期 間	修 学 区 分	所 在 地
現在(最終)		(学部) (学科)	1部(全日) 2部(定時) 通 信	年 月 から 年 月 まで	卒・修了・卒見 年中退	市 区 町 村
その前		(学部) (学科)	1部(全日) 2部(定時) 通 信	年 月 から 年 月 まで	卒・修了・卒見 年中退	
その前		(学部) (学科)	1部(全日) 2部(定時) 通 信	年 月 から 年 月 まで	卒・修了・卒見 年中退	

職 歴（アルバイトを含む）	勤 務 先 名	職 務 の 内 容	在 職 期 間	在 職 区 分	所 在 地
現在(最終)			平・昭 年 月 から 平・昭 年 月 まで	在職中 退 職	市 区 町 村
その前			平・昭 年 月 から 平・昭 年 月 まで	在職中 退 職	
その前			平・昭 年 月 から 平・昭 年 月 まで	在職中 退 職	
その前			平・昭 年 月 から 平・昭 年 月 まで	在職中 退 職	
その前			平・昭 年 月 から 平・昭 年 月 まで	在職中 退 職	

(裏面にも記入)

資格・免許			
名 称	種別・級位等	取 得 年 月	付 与 機 関 等
		昭・平 年 月	
		昭・平 年 月	
		昭・平 年 月	
		昭・平 年 月	
		昭・平 年 月	

趣 味			
学校・会社等で加入したクラブ等		好きな学科	
自分の性格	長所 短所	最近関心をもっていること	

志望の動機

あなた自身をPRしてください。(得意なこと、これまでに力をいれてきたことなど、どのようなことでも結構です。)

私は、日本国籍を有するとともに、地方公務員法第16条の規定に該当していません。
また、この履歴書の全ての記載事項は事実と相違ありません。

平成 年 月 日 受験者氏名 _____ (自署)

【記入上の注意】 書く欄が足りない場合は、用紙を貼って記入してください。

研究・業績等調書

職 種	氏 名	生年月日
学芸員（近代工芸）		年 月 日

- ※1 この書類は、大学等における研究実績、美術館での実務経験（インターン含む。）、本県の学芸員として取り組みたい企画等について記述をするものです。
- ※2 項目の欄には、「大学での研究実績」「卒業論文（概要）」「学会発表」「実務経験」「将来企画したい取組」等、具体的な内容が把握できる項目名を記述し、内容の欄には、その内容と実施した期日を記述してください。
- ※3 書く欄が足りない場合は、用紙を追加してください。なお、ワープロ等で作成しても結構ですが、用紙の大きさは、必ずA4サイズとしてください。

項目	内 容

2018 年 6 月 5 日

関係機関長 殿

同志社大学グローバル・コミュニケーション学部
学部長 南井 正廣
(公印省略)

英語コース専任教員の公募について (ご依頼)

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、この度本学部では、下記の要領にて英語コース専任教員を公募いたします。

つきましては、ご多用のところ恐縮に存じますが、貴職関係方面へ周知くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 任用職名：助教、准教授または教授
2. 担当科目：グローバル・コミュニケーション専門科目（社会科学系科目、英語科目、Study-Abroad 科目を含む）、および全学共通教養教育科目（英語）
3. 採用人員：1 名
4. 勤務形態：常勤（任期なし）
5. 採用予定日：2019 年 4 月 1 日
6. 応募資格：
 - (1) 社会科学に関連する学問分野（国際関係、国際政治およびそれに関連する分野を含むが、限定するものではない）で博士号を取得している者、または、それに準じる教育上・研究上の業績を有する者
 - (2) 専門科目の教育経験のある者（および大学レベルの英語科目の教育経験のある者が望ましい）
 - (3) 英語を第一言語とする者、あるいはそれと同等の英語運用能力を持つ者
 - (4) 校務遂行に必要な日本語運用能力を有する者
 - (5) グローバル・コミュニケーション学部における語学教育の重要性を理解する者
 - (6) 入試業務を含む学部内および大学内の諸委員会に積極的に参加する意欲のある者
 - (7) 採用後、近畿圏に居住できる者
7. 義務時間および業務：
 - (1) 担当授業時間数は、1 週 6~7 コマを基準とする。
 - (2) 入試関連業務、各種委員会の関連業務を担当する。
8. 提出書類：
 - (1) 履歴書および業績書各 1 部（英語または日本語で）。書式は同志社大学ホームページを参照のこと
(ダウンロード可 <http://www.doshisha.ac.jp/doshisha/recruit.html>)
 - (2) 主たる研究業績 3 点（抜き刷り、またはコピー可。各々日本語で 1,200 字程度の要約を付すこと）

(3) 応募理由書 1部(これまでの教育実績・研究実績をふまえ、今後の教育・研究に関する抱負を英語 1,200 語程度にまとめたもの)

(4) 学位証明書(修士、もしくは博士課程修了証明書)のコピー 1部

9. 応募締切日: 2018 年 8 月 24 日(金) 17 時までに必着のこと

10. 提出先および問い合わせ先:

〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷 1-3

同志社大学グローバル・コミュニケーション学部

学部長 南井 正廣

注) なお、封筒の表に「英語コース専任教員応募書類在中」と朱書し、必ず書留便で送付すること(宅配便可)

※本件に関する問合せは、Eメール(jt-gcjm@mail.doshisha.ac.jp)でお願い致します。

電話での問合せはご遠慮ください。

11. その他:

- (1) 選考の過程でその他の業績の提出を求めることがある。
- (2) 必要な時点で学位証明書等の原本の提示を求める。
- (3) 必要に応じて面接を行う。また、模擬授業の実施を求めることがある。
- (4) 面接の際の交通費の支給は本学部の規程に基づく。
- (5) 選考結果については、選考終了次第、直接本人に通知する。
- (6) 上記 8. の提出書類は原則として返却しない。
- (7) 応募書類提出後、長期不在の予定がある場合には、変更後の住所、電話、ファックス番号、Eメールアドレス等を記載したものを必ず応募書類に同封すること。

提出いただいた書類は厳重に保管・管理し、審査終了後は責任を持って破棄します。また、提出いただいた書類に含まれる個人情報、個人情報保護法に基づき、選考以外の目的には使用いたしません。

以 上

Tenured Teaching Position 2019
English Course Section, the Faculty of Global Communications, Doshisha University

Position: Assistant Professor, Associate Professor or Professor (tenured)

Starting date: April 1, 2019

Teaching duties: 1) Major courses (including language courses, content courses, and study-abroad programs) for the Faculty of Global Communications, and
2) Undergraduate English courses for all faculties in the university

Qualifications and Applicant conditions (All of the following must be satisfied):

- 1) A Ph.D. degree (or equivalent qualification) in a field related to the social sciences (including but not limited to the following areas: international relations, international politics, etc.)
- 2) Some experience in teaching their areas of specialization and preferably university-level English language courses
- 3) First language is English, or an equivalent level of English proficiency
- 4) Japanese ability required to carry out administrative duties
- 5) A high level of enthusiasm toward the language education in the Faculty of Global Communications
- 6) Willingness to participate in departmental and university-wide committees, including those related to creation of entrance examinations
- 7) Resident (after April 1, 2019) of the Kinki area of Japan

Responsibilities:

- 1) Teaching load: A minimum of 6~7 90-minute classes per week
- 2) Entrance examination duties and others (including committee duties) contributing to the management of the Faculty of Global Communications as well as Doshisha University

Application materials:

- 1) Curriculum Vitae (履歴書, *rirekisho*) and a list of academic publications (業績書, *gyosekisho*) (either in English or in Japanese)
The necessary forms can be downloaded from the university website:
<http://www.doshisha.ac.jp/doshisha/recruit.html>
- 2) One offprint/copy of each of three (3) major publications, with a Japanese synopsis (up to 1200 characters) for each publication
- 3) Statement in English (about 1,200 words), explaining the reason for applying, including teaching philosophy as well as research plan
- 4) One copy of Doctorate certificate or Master's degree certificate

Deadline for application: Application materials must arrive by 5 p.m., Friday, August 24, 2018, via registered mail (*kakitome*) or commercial parcel delivery (*takuhaibin*).

Send applications to: Professor Masahiro Minai, Dean
Faculty of Global Communications
Doshisha University
1-3 Tatara Miyakodani, Kyotanabe
Kyoto 610-0394
Japan

N.B. Please print "Application Documents (English Section)" in red on the face of the envelope.

Please include your address, telephone number, and e-mail address information which is available anytime.

Please note:

- 1) After receipt of initial application materials, requests may be made for additional items.
- 2) We may request to see original degree certificates.
- 3) Upon completion of initial screening procedures, final candidates will be interviewed, and may be asked to give a demonstration lesson.
- 4) For those candidates who are requested to come to Doshisha for an interview, full or partial funding for transportation costs may be available according to the Faculty's regulations regarding such funding.
- 5) Candidates will be directly notified of the results upon completion of the process.
- 6) Application materials cannot be returned.

*For inquiry regarding this recruitment, please e-mail: jt-gcjm@mail.doshisha.ac.jp

Application materials will be retained by the Faculty of Global Communications and will be safely disposed of after the selection. Personal information will not be used for purposes other than the selection, according to the Protection of Personal Information Law of Japan.

2018年6月

各大学・機関 所属長 様

同志社大学心理学部長

神山貴弥

同志社大学心理学部教員公募について（お願い）

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記の件、本学部では、別紙募集要項のとおり教員を公募することになりました。

つきましては、関係各位にご周知いただけますと幸甚です。

敬具

（ご参考）

本学 WEB サイト教職員公募 URL：

<http://www.doshisha.ac.jp/doshisha/recruit.html>

心理学部心理学科教員（臨床心理学）公募

公募人員

教授、准教授、または助教 1名

専門分野

心理学（臨床心理学；司法・犯罪分野あるいは産業・労働分野）

担当予定科目

司法・犯罪あるいは産業・労働に関する心理学専門科目（仮）、ならびに公認心理師法による公認心理師の資格に対応した学部・大学院教育カリキュラムにおける実習および演習科目。また、上記以外の学部および大学院科目を担当する可能性もある。

応募資格

1. 大学院修士課程修了以上の方
2. 博士の学位を有する方、またはそれに準ずる業績を有する方
3. 司法・犯罪分野あるいは産業・労働分野における臨床経験もしくは研究業績を有する方
4. 公認心理師資格を取得可能な方
5. 同志社大学心理臨床センターの運営に積極的に関われる方（なお、同志社大学心理学部は京田辺校地、同志社大学心理臨床センターは今出川校地に設置されており、着任後の勤務地は京田辺と今出川の両校地にわたります。）
6. キリスト教主義教育に理解がある方

着任時期

2019年4月1日

提出書類

1. 履歴書・業績書（本学所定様式）
（「履歴書」に記す職歴は、常勤と非常勤（嘱託）を分けて記入してください。「業績書」に記す共著論文については第何著者なのかわかるように記載し、学会発表については、それぞれ口頭、ポスターなど形式を明示してください。）
2. 主要な著作・論文3点以内（抜き刷り、コピーでも可。掲載前の論文の場合は掲載誌からの採択通知を添付のこと）
3. 現在までの研究・活動概要（A4で2枚以内、フォントサイズは12ポイント以上で作成すること）
4. 着任後の教育と研究についての抱負（A4で2枚以内、フォントサイズは12ポイント以上で作成すること）
5. 臨床実務経験および指導経験（本学所定様式）
大学（大学院及び短期大学を含む）の教員として心理分野の教育に係る実習又は演習の教授経験を有する場合は、その内容を臨床経験に続いて記入願います。
6. （公財）日本臨床心理士資格認定協会による臨床心理士資格を有する場合は、登録カードのコピー
7. 応募者に関する所見を求めうる2名の方の氏名、所属、連絡先メールアドレス、応募者との関係を記したもの（A4で1枚、フォントサイズは12ポイント以上で作成すること）

選考内容

書類選考、面接、模擬授業

第一段階として書類選考を実施し、第二段階として面接を実施の上、模擬授業を行っていただきます。第二段階の選考の詳細については後日通知いたします。なお、交通費等は応募者の負担とします。

応募期間

2018 年 7 月 2 日（月）から 2018 年 8 月 31 日（金）消印有効

書類提出先

〒610-0394 京田辺市多々羅都谷 1-3

同志社大学心理学部事務室

* 書類提出の封筒には「心理学部教員（臨床心理学）応募」と朱書きのうえ、簡易書留で送付してください。

* 応募書類は原則として返却しません。個人情報保護法にもとづき、この応募に関する個人情報は選考以外の目的に用いることはありません。応募書類は選考終了後に責任をもって廃棄します。

* 履歴書・業績書および臨床実務経験・指導経験の所定様式については、本学ホームページよりダウンロードしてください。

(<http://www.doshisha.ac.jp/doshisha/recruit.html>)

問い合わせ先

同志社大学心理学部事務室

jt-snrjm@mail.doshisha.ac.jp

* 本件に関する問い合わせは E-mail のみとし、これ以外は受け付けません。学部教員応募についての問い合わせであることがわかるよう件名をおつけください。

平成30年6月14日

関係各位

広島大学大学院文学研究科長

久保田 啓一（公印省略）

教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本研究科では、下記の要領で教員を公募することとなりました。

つきましては、関係者各位へ周知いただくとともに、適任者の推薦及び応募についてよくお取り計らい願います。

敬具

記

1. 所属（配属） 広島大学学術院（大学院文学研究科 応用哲学・古典学講座）
2. 職名・人員 准教授 1名
3. 採用予定年月日 平成31年4月1日
4. 専門分野 インド哲学（インド学）
5. 担当科目 教養教育科目：「サンスクリットの世界」等
学部（専門教育科目）：「サンスクリット語入門」「ヴェーダ語基礎演習」等
大学院（博士課程前期）：「サンスクリット古典学研究」「サンスクリット文法学研究」「ヴェーダ学講義」等
大学院（博士課程後期）：「特別研究指導Ⅱ」等
この他、教養教育科目や他の学部・大学院の専門教育科目、全学事業も担当することがあります。
6. 応募資格 次の要件をすべて満たす者
(1)博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む）または博士の学位と同等の学力を有すること。
(2)著書（単著）1冊以上、または論文10編（うち査読付き論文3編以上を含む）以上の研究業績を有すること。
(3)日本語で教育・研究指導および学内業務が遂行できること。
(4)英語による教育・研究指導ができること。
* 英語での刊行論文ならびに英語での国際学会等での発表の実績があることが望ましい。
7. 応募書類 (1)履歴書
①写真を貼付し、学歴・職歴・所属学会・住所・メールアドレス

等を明記すること。

②過去5年間に広島大学で雇用（TA, RA, 研究員等を含む）されたことがある場合は、漏らさず記載すること。

(2)研究業績一覧

各研究業績に番号を付け、審査付論文の番号にはアンダーライン、主要研究業績5点には番号の冒頭に*印を付けること。

(3)主要な研究業績5点（現物又はコピー、著書）

(4)教育上の主要な業績

(5)社会貢献に関わる主要な業績

(6)大学等における管理運営に関わる主要な実績

(7)最近5年間ににおける外部資金の獲得状況

(8)着任後の研究・教育に対する抱負と計画（2,000～3,000字）

* (1)～(8)の応募書類は日本語または英語で作成することができる。応募書類は、紙媒体と電子ファイル（Word ファイルまたはPDF ファイル、USB メモリに保存）の両方を提出すること。

* (3)の研究業績5点に関しては、可能な限り電子データ化（PDF ファイル等）し、現物又はコピーに加え、電子データでも提出すること（上記 USB メモリに保存）。なお単著書籍の場合はこの限りでない。

8. 応募期限 平成30年9月21日（金）17:00（日本標準時）（必着）

9. 応募書類送付先 〒739-8522 広島県東広島市鏡山1-2-3
広島大学大学院文学研究科長 久保田 啓一
※封筒の表に「大学院文学研究科応用哲学・古典学講座（インド哲学〔インド学〕）教員応募書類在中」と朱書し、書留郵便で送付してください。

10. 選考方法 (1)書類審査
(2)必要に応じて面接を行うことがあります。面接を行う場合は、原則として、英語による模擬授業を行います。ただし、交通費等は支給できませんので、あらかじめ御了承ください。なお、書類審査通過者に面接を行う場合は、その形式について、別途連絡します。
(3)広島大学は、男女共同参画を推進しています。本学は、「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、業績（研究業績、教育業績、社会貢献等）及び人物の評価において同等と認められた場合は女性を採用します。

11. 勤務形態 (1)勤務時間 8:30～17:00（月～金）、休憩時間 12:00～12:45
専門業務型裁量労働制の適用に同意した場合は、1日7時間45分、1週間38時間45分働いたものとみなされます。
(2)勤務日は、原則として月曜日から金曜日（祝日を除く。）です。
(3)休日は、原則として土曜、日曜、祝日となります。

12. 給与等 (1)採用になった方には、月給制又は年俸制が適用されます。

(広島大学職員給与規則、広島大学年俸制職員給与規則適用)

(2) 採用となった方には、本学の規則に基づき、採用に伴う旅費を支給できる場合がありますのでお問い合わせ下さい。

【月給制適用の場合】

国、独立行政法人、地方公共団体又は国家公務員退職手当法に定める公庫等を退職後、引き続いて本学に採用される場合は、退職手当の算定の基礎となる在職期間は通算されません。法人化前の取扱いとは異なりますのでご注意ください。

なお、他の国立大学法人又は独立行政法人国立高等専門学校機構等を退職後引き続いて本学に採用される場合は、現所属機関に同様の定めがある場合に限り通算されます。

13. 評価 本学の教員には、採用以降の業務実績について個人評価を行い、その結果を点数化し、処遇へ反映します。
14. 募集者名 国立大学法人広島大学
15. その他 (1) 試用期間：あり（6月間）
（広島大学職員就業規則）
(2) 応募書類により取得する個人情報、採用者の選考及び採用後の人事・給与・福祉関係に必要な手続に利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。
なお、採用に至らなかった方の応募書類は、当該採用選考業務終了後、適切な方法にて返却いたします。
(3) 広島大学では全ての大学教員は「学術院」に所属し、学部、研究科、研究院、病院などの教育研究組織に配属されます。教員は配属された教育研究組織の教育・研究に従事することになります。が、教養教育科目や他の教育研究組織の教育・研究、全学事業を担当することもあります。
(4) 本学は、世界ランキングトップ 100 に向けた本学の中長期的な成長を目指し、優れた研究人材の確保・育成を図るとともに、教員の年齢別構成の改善を図るため特に若手教員、女性教員及び外国人教員等の活躍の場を全学的に拡大し、教育研究を活性化していく予定です。このことを踏まえ、今回の公募は若手研究者の応募を希望します。
16. 問い合わせ先 広島大学大学院文学研究科
応用哲学・古典学講座 教授 後藤弘志
TEL:082-424-6621
E-mail:gotol201@hiroshima-u.ac.jp

Date: June 14, 2018

Hiroshima University
Graduate School of Letters,
Faculty of Letters

1. Affiliation (Appointment): Academy of Hiroshima University (Department of Applied Philosophy and Classics, Graduate School of Letters)

2. Position and the number of opening: Associate Professor, one (1)

3. Commencing date of employment: April 1, 2019

4. Field of specialization: Indian Philosophy (Indology)

5. Teaching responsibilities

- Undergraduate level (general education courses): World of Sanskrit, etc.
- Undergraduate level (discipline specific courses): Introduction to Sanskrit, Elementary Seminar in Vedic, etc.
- Graduate level (master's programs): Study of Sanskrit Classics, Study of Sanskrit Grammar, Lecture on Vedic, etc.
- Graduate level (doctoral programs): Special Research Tutorial II, etc.

* In addition to the courses listed above, he or she may be asked to teach other general education courses and/or discipline specific courses in other department(s) and graduate school(s).

6. Qualifications

Applicants must satisfy all of the following requirements:

- (1) Hold a doctorate (or an equivalent degree) or equivalent academic attainment by the time the appointment begins
- (2) Hold more than one book (monograph) published and/or more than published ten academic papers (including more than three refereed papers)
- (3) Be able to teach classes, supervise students, and participate in administrative affairs in Japanese
- (4) Be able to teach classes and supervise students in English

* It is desirable that applicants have research papers in English and have made presentations in English at international conferences and the like.

7. Application materials required

(1) Resume

(A) If you have a history of being employed by Hiroshima University (as a TA, RA, researcher, etc.) in the past five years, be sure to state all positions you have held.

(B) Degrees attained, employment history, details of affiliations with academic institutions, address, e-mail address, etc. are to be given.

- (2) List of publications and oral presentations (Number each publication/presentation, and underline the numbers of refereed articles. Affix an asterisk (*) to the numbers of your five major publications or presentations.)
- (3) Five major publications or presentations (Reprints, photocopies, or books)
- (4) Major educational activities and teaching experience
- (5) Major social contributions
- (6) Major activities in university/institutional management and administration
- (7) List of acquired external funding over the last five years
- (8) A one-page statement of intent (Please describe your interests in teaching and research, should you take this position.)

* All of these documents may be either in English or in Japanese.

* Applicants are requested to submit all documents in Word or PDF files on a USB memory stick, in addition to the hardcopies outlined above.

8. Application deadline: All application materials must reach us by 5:00 pm on September 21, 2018 (Japan time).

9. Please send all application documents to the following address:

Prof. Keiichi Kubota

Dean, Hiroshima University Graduate School of Letters

1-2-3 Kagamiyama, Higashi-hiroshima 739-8522, JAPAN

- * Print in red "Application documents for faculty open position in the Department of Applied Philosophy and Classics, Graduate School of Letters" on the envelope containing the application documents and send it by registered mail.

10. Selection procedure

- (1) Selection will be made based on all application documents submitted.
- (2) Interviews will be conducted as needed. As a general rule, we will conduct simulated lessons in English. In such cases, please note that travel expenses will be the responsibility of the applicant. Applicants who pass the initial document review

will be informed of interview date, time and format.

- (3) Hiroshima University promotes a gender-equal society in accordance with the legislative intent of the Basic Law for a Gender-Equal Society.

11. Employment status

- (1) If you are agreeable to the application of the Discretionary Labor System for Professional Work, you are deemed to work for 7 hours and 45 minutes a day and 38 hours and 45 minutes a week. If not, working hours are from 8:30 to 17:00 (from Monday to Friday) and break time is from 12:00 to 12:45.
- (2) Workdays are from Monday to Friday (excluding public holidays) in principle.
- (3) Holidays are Saturdays, Sundays and public holidays in principle.

12. Salary, etc.

- (1) The monthly salary system or annual salary system will be applied to successful candidates.
(Regulations Concerning Salaries of Hiroshima University Faculty Members will be applied. Regulations Concerning Salaries of Hiroshima University Faculty Members Employed under Annual Salary System will be applied.)
- (2) Successful candidates may be reimbursed for travel expenses incurred for the trip from their home or former place of work to the new place of work to assume their post in accordance with the relevant regulations of Hiroshima University. For more information, please contact us.

13. Evaluation

We conduct individual performance evaluations for all Hiroshima University faculty members after their employment, numerically rate their performance, and salary and benefits are commensurate with performance indicators.

14. Employer: Hiroshima University

15. Miscellaneous

- (1) Probationary employment period: six (6) months
(Hiroshima University Work Regulations for Employees.)
- (2) Personal information obtained from application documents will not be used or provided to any third party for purposes other than the necessary procedures related to personnel affairs, salary, and welfare. Application documents of applicants whom we have decided not to employ will be returned to those applicants

in an appropriate manner, after the completion of relevant selection processes.

- (3) All the faculty members of Hiroshima University belong to the "Academy", which is the single university-wide faculty organization, and each faculty as a member of the Academy of the University is appointed to educational and/or research organizations such as an individual undergraduate school, graduate school, research center and institute.
- (4) Our university aims at securing and nurturing excellent researchers and to be among the top 100 universities in the world. Towards this goal we plan to attract excellent young researchers and therefore diversify and broaden our age demographics, including female as well as foreign scholars. Therefore, we are particularly encouraging young researchers to apply at this time.

16. Contact

Prof. Hiroshi Goto

Department of Applied Philosophy and Classics, Hiroshima University Graduate School
of Letters

1-2-3 Kagamiyama, Higashi-hiroshima 739-8522, JAPAN

Tel: 082-424-6621

E-mail: goto1201@hiroshima-u.ac.jp